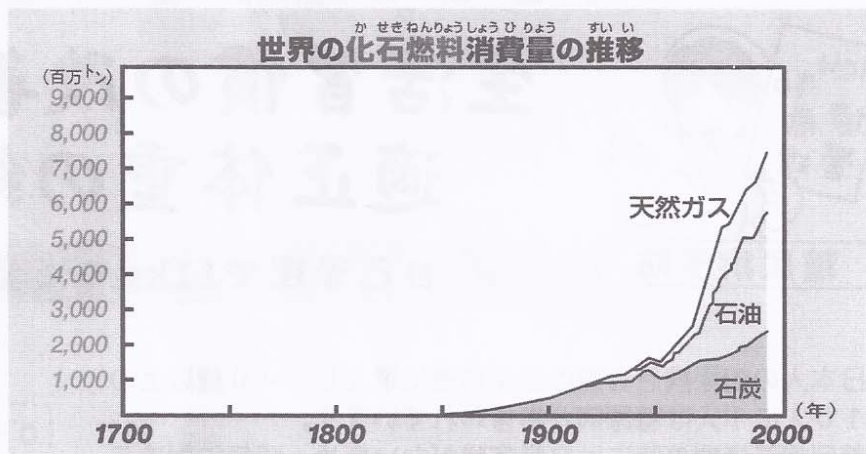


科学技術の急速な発展によって20世紀には電気が普及し、石炭に加えて石油や天然ガスがエネルギー源や工業製品の材料として使用されるようになりました。工業化は大量生産を可能にし、人口の増加を促しましたが、同時に森林などの自然を破壊するようになります。



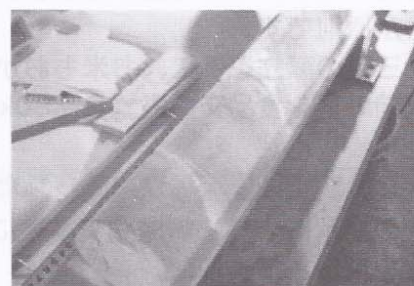
■大昔の気温がどうしてわかるの？

南極やグリーンランドの氷床（50,000m²以上の大きな氷河のかたまり）には大昔の氷がそのままけずに残っています。

それを掘り出して、中に閉じこめられている空気を調べると、大気の成分や気温までわかります。掘り出した氷の柱を「氷床コア」といいます。

2007年、第48次南極地域観測隊は、ドームふじ基地で深さ3,035メートルまでの氷床コアを掘り出すことに成功しました。

掘り出した氷床コアからは、72万年前の地球の気候がわかると期待されています。

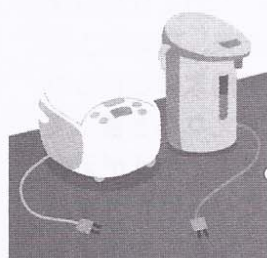


(チーム・マイナス6%『地球温暖化ってなに?』から引用)

家庭でできる地球温暖化対策⑤

●ジャーの保温を止める

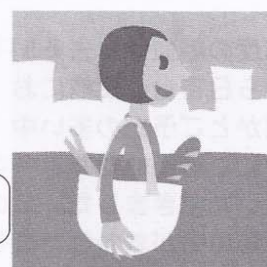
ポットやジャーの保温は利用時間が長いと、多くの電気を消費します。ごはんは電子レンジで温めなおす方が電力の消費は少なくなります。



年間約 34kg の CO₂ の削減、
年間で約 1,900 円の節約

●買い物袋を持ち歩き、 省包装の野菜を選ぶ

トレーやラップは家に帰れば、すぐごみになります。買い物袋を持ち歩けばレジ袋を減らせます。



年間約 58kg の CO₂ の削減

(環境省のリーフレット「身近な地球温暖化対策」から引用)